

釧路湿原川レンジャー News

2016 Vol.4

第4回「釧路湿原川レンジャー学習会」が開催されました

平成29年2月7日(火)に、23名が参加して「第4回釧路湿原川レンジャー学習会」を開催しました。

今回は、鶴居村での「温根内ビジターセンター工事現場見学」と「釧路湿原川レンジャー活動報告会」、「意見交換会」を行いました。

「温根内ビジターセンター」について

鶴居村温根内の「温根内ビジターセンター」工事現場にて、環境省釧路自然環境事務所 長谷川自然保護官から、建替え工事の経緯と新ビジターセンターの概要について説明がありました。

温根内ビジターセンターは、温根内木道に併設して設置された環境省の博物展示施設で平成4年に開館しました。建設から20年以上経過し老朽化と利用者のニーズも大きく変わり、建替え工事を行っております。

新ビジターセンターの開館は、平成29年4月の予定です。



建設中のビジターセンター

●事業の概要

新ビジターセンターの特徴

湿原環境へと誘うゲートとしての環境づくり

湿原の散策フィールドである温根内木道や鶴居軌道の入口に整備されることから、これらとの一体利用が可能で、湿原環境へ誘うためのゲートとなる魅力ある施設。

(展示、建物設備の例)

- ・利用者が木道散策で見つけた動植物を報告できる展示
- ・「もしヤチマナコに落ちたら」を視覚・体感的に疑似体験できるコーナー
- ・湿原の成立や動植物・湿原再生事業・鶴居村の歴史
- ・展示室から木道直通の見晴らしの良いデッキ

ユニバーサルデザインの実践

施設全体を幼児から高齢者および車椅子利用者の利便性・安全性・安心性を考慮した施設とし、外国人利用者に対応するため、誘導標識や展示を含め多言語化とピトグラム(視覚記号)を採用。

環境低負荷型施設づくり

太陽光パネルを設置し、商用電力の消費削減、ハイサイドライトの設置による自然採光の活用、排水の循環再利用等、環境への低負荷型の施設。施設の敷地は拡大せず環境に配慮。

その他

- ・利用者へ配慮し、夏季は24時間トイレを開放。
- ・場所が分かりやすいように案内板や入口ゲートを設置。
- ・カラマツなど地元の木材を使用。
- ・団体客に対応した展示や散策のガイドを配置。



新ビジターセンター
(イメージ)



旧ビジターセンター
(牧舎風建物)



長谷川自然保護官の説明を
熱心に聞く川レンジャー



ビジターセンター前の湿原
木道で記念撮影

釧路湿原川レンジャー活動報告会

午後からは「釧路湿原川レンジャー活動報告会」を行いました。今回は、応募していただいた松田さんと紀國さんから報告をいただきました。日頃から行っている観察活動などをわかりやすくまとめ報告されて、参加した皆さんは興味深く発表を聞き、資料に目を通されていました。



●H28-023 松田 國宏さんの発表

『釧路川・釧路湿原についてPart4』と題して、新聞記事やパンフレットなどを紹介しながら、紅葉という現象、釧路・幣舞の地名語源や歴史、運搬路としての釧路川の歴史と幣舞橋の歴史について、釧路の街の成立ちを知る有意義な報告をしていただきました。



発表する松田氏



興味深い内容に耳を傾ける参加者

●H28-054 紀國 住枝さんの発表

『白鳥が新釧路川及び仁々志別川に来て10年経ったことについて』と題して、10年間観察されているオオハクチョウの変化や様子を中心に、撮影した写真を交えながら報告していただきました。釧路の河川には自然があふれているということを感じさせる内容でした。



発表する紀國氏



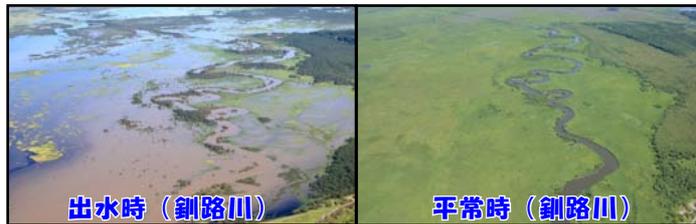
紀國氏提供

オオハクチョウの親子

●釧路湿原川レンジャー事務局

事務局から、昨年8月末の台風による記録的な大雨について報告しました。釧路湿原は、大雨に対して天然の遊水地となり、釧路市街を水害から防ぐ大きな効果があります。

上空から見た釧路湿原（岩保木水門上流）



出水時（釧路川）

平常時（釧路川）

平成28年8月24日撮影

平成27年7月8日撮影

出水時は平常時より水位が最大約3m上昇
観測を始めてから最高水位を記録しました
(避難判断水位には至ってません)

意見交換会



意見交換会

活動報告会後に参加者から一人ずつ意見や感想をいただきましたので、抜粋した内容を以下で紹介します。

- 幣舞橋が出来るまでのことを釧路生まれなのに今日初めて知ってびっくりしました。
- 仁々志別川の人道橋に白鳥がいるんですが、通るたびによく見学させてもらっています。
- 色々知らなかったことが資料によって、知識として知ることが出来たことに本当に感謝しています。
- 遠矢小学校の生徒と共に花咲じいさんプロジェクトに参加して、植樹したことがすごく印象に残っています。

- 今回の出水に伴って植生が大分変わったというお話がありました。私達は小さな力ですが、参加して外来種防除や植樹などを継続していくことが大事だと思います。
- この出水の報告を受けまして、もの凄い量の水が湿原に貯まり、そのおかげで釧路市の水害がなくなったというのが実感出来ました。
- いろいろなことが経験でき知識として得られて、もっと多くの方に参加して頂ければよいとすごく感じました。
- 札幌に住んでいたので、釧路湿原のことがよく分かりませんでした。魅力的な自然がある釧路で活動する川レンジャーってすばらしい。

意見交換会では、水害という身近な問題を考え熱心な意見を述べられる方が多く、次年度以降の学習会で取り入れていきたいと思えます。

観察活動の報告

釧路湿原川レンジャーの皆さんから観察活動の報告がありましたので紹介します。

今回は、大型ゴミの不法投棄と河川看板の倒壊、野鳥観察の報告がありました。

今後も釧路湿原川レンジャーNewsで紹介していきますので、皆さんからの報告をお待ちしています。



(新釧路川)

不法投棄（釧路河川事務所回収後処理しました）

報告日	報告内容
H28. 10. 28	大型ゴミの不法投棄 野鳥観察
H28. 11. 2	野鳥観察
H28. 11. 24	野鳥観察 河川看板倒壊(仁々志別川)

